外国人宿泊者の本人確認について

　住宅宿泊事業法第８条第１項の規定により、民泊の営業者は、宿泊者名簿を備えることが義務づけられています。また、宿泊者名簿には、宿泊者の氏名、住所、職業、宿泊日の他に、外国人宿泊者が日本国内に居住していない場合は、国籍、旅券番号を記載することが法で定められています。

　なお、日本国内でのテロ等の不法行為を未然に防ぐため、日本に居住していない外国人宿泊者の方には、旅券を呈示していただきます。営業者は旅券の内容から本人確認を行うとともに、旅券の写しを宿泊者名簿とともに保管することが、厚生労働省、国土交通省から指導されています。ただし、在日のアメリカ軍人等に該当する場合は、ミリタリーID等の本人確認を行える証明書を提示いただきます。この場合、営業者は本人確認を行いますが、写しをいただいたり、宿泊者名簿に番号を記載することはありません。

　旅券の呈示に応じていただけない場合は、旅券不携帯の可能性があるものとして、最寄りの警察署に連絡することがありますので、あらかじめご了承ください。

**簡体字：**

关于外国人住宿者的本人确认

根据住宅宿泊事业法第8条第1项规定，民宿的经营者有义务准备住宿登记表。法律规定，住宿登记表中需包括住宿者的姓名、住所、职业、住宿日期等信息；如果外国人住宿者不居住在日本国内，则需要填写国籍、护照号码等信息。

另外，为防止在日本国内发生恐怖事件等不法行为，不居住在日本的外国人住宿者需出示护照。厚生劳动省和国土交通省规定，经营者根据护照的内容确认外国人本人信息，同时，保存护照的复印件和住宿登记表。如果是在日美国军人，则需出示军官证等可以确认本人信息的资料。此时，经营者可进行本人确认，但是不复印证件、不将证件号码登记在住宿者登记表上。

如住宿者无法出示护照，将可能被认为不随身携带护照，经营者可与附近的警察署联系，请知悉。

**繁体字：**

關於外國人住宿者的本人確認

根據住宅宿泊事業法第8條第1項規定，民宿的經營者有義務準備住宿登記表。法律規定，住宿登記表中需包括住宿者的姓名、住所、職業、住宿日期等資訊；如果外國人住宿者不居住在日本國內，則需要填寫國籍、護照號碼等資訊。

另外，為防止在日本國內發生恐怖事件等不法行為，不居住在日本的外國人住宿者需出示護照。厚生勞動省和國土交通省規定，經營者根據護照的內容確認外國人本人資訊，同時，保存護照的影本和住宿登記表。如果是在日美國軍人，則需出示軍官證等可以確認本人資訊的資料。此時，經營者可進行本人確認，但是不複印證件、不將證件號碼登記在住宿者登記表上。

如住宿者無法出示護照，將可能被認為不隨身攜帶護照，經營者可與附近的警詧署聯系，請知悉。